

こ こうほうぶ かつどうないよう
子ども広報部「びとこま」2017 活動内容（5月～11月）

- ① 5月20日（土） オリエンテーション
たが しゅざい しゅざいようめいし しゅざい しゅしん
 お互い取材しあう / 取材用名刺づくり / 取材・写真のコツ
- ② 6月24日（土） 企画展「NITTAN ART FILE2 クロスオーバー」
きかくてん ニッタン アート ファイル
 中庭展示「松井紫朗 Channel」
なかにわたんじ まついしろう チャンネル
- ③ 8月26日（土） 特別展「水から未来を紡いで 20世紀美術の創造」
とくべつてん みず みらい つむ せいきびじゆつ そうぞう
 展示会の鑑賞と取材
てんらんかい かんしやう しゅざい
- ④ 9月30日（土） 野外彫刻探訪
やがいちやうこくたんぼう
 白鳥アリーナ館内・館外の見学・取材
はくちやう かない かんがい けんがく しゅざい
- ⑤ 10月21日（土） 特別展「柳原良平の海・船・港」・中庭展示「前田育子 冬の始まり」
とくべつてんやなぎはらりやうへい うみ ふね みなと なかにわたんじ まえだいくこ ふゆ はじ
 展示会の鑑賞と取材
てんらんかい かんしやう しゅざい
- ⑥ 11月25日（土） コレクションカードをつくる①
- ⑦ 12月16日（土） コレクションカードをつくる②
- ⑧ 2月10日（土） コレクション展観覧 修了式
てんかんらん しゆりやうしき

こんごう オージー ちゆうがくさんねんせい くまがいらな さぶへんしゆうちやう いっしょ
 今号ではびとこま OG で中学三年生になった熊谷理菜さんが sub 編集長として一緒に
 かつどう がっこう びじゆつ がくぎやう いっしやうけんめいとく
 活動しました。学校では美術やバレーボール、学業にも一生懸命。得意なことをどんど
 はつき すてき ごう こんねんど きじ か とく
 ん発揮し、素敵な 22 号ができました！今年度は記事を書くのが得意なメンバーが多い
 ようです。読み応えある記事が揃っていますよ。（藤沢レオ）



～メルボルンより～

Hi!! 元気ですか？びとこまの編集をしていたおぢんです。
 “イェズミ”って見たことある？メルボルンはイェズミ（英語ではTATTOO）
 をしている人がたくさん!! 信号待ちをしたら、私の
 家族以外、全員TATTOOだったことも!! 入るTATTOOを
 見せたら安くなる美術館も!!メルボルン暮らしの記念に私も…と
 思ったけど、痛いぞ。日本の温泉で立入禁止と言われたらイヤ
 だから、やめとこーと。



誰もかかしてない!!
 キレイなおしゃれなのコワイの
 ツ!! ついついじっと見ちゃう。

びとこま 第22号（2017年10月発行）

[執筆] 子ども広報部「びとこま」（熊谷理菜（sub 編集長）・黒滝直人・小山鈴乃・金智花・金遥風・中村創介
 坂東菜那・深澤乃愛・山田圭悟・山田和佳・渡辺治暖・苫小牧市美術博物館・NPO 法人樽前 arty プラス

[イラスト] 子ども広報部「びとこま」・小河けい NPO 法人樽前 arty プラス

[企画・編集] 苫小牧市美術博物館・NPO 法人樽前 arty プラス

[発行] 苫小牧市美術博物館（苫小牧市末広町3丁目9-7）

苫小牧市美術博物館の魅力を伝える

びとこま

2017
 第22号



トヨタ自動車北海道株式会社創業25周年記念事業

水から未来を紡いで

特集

20世紀美術の創造

「バレーボール」

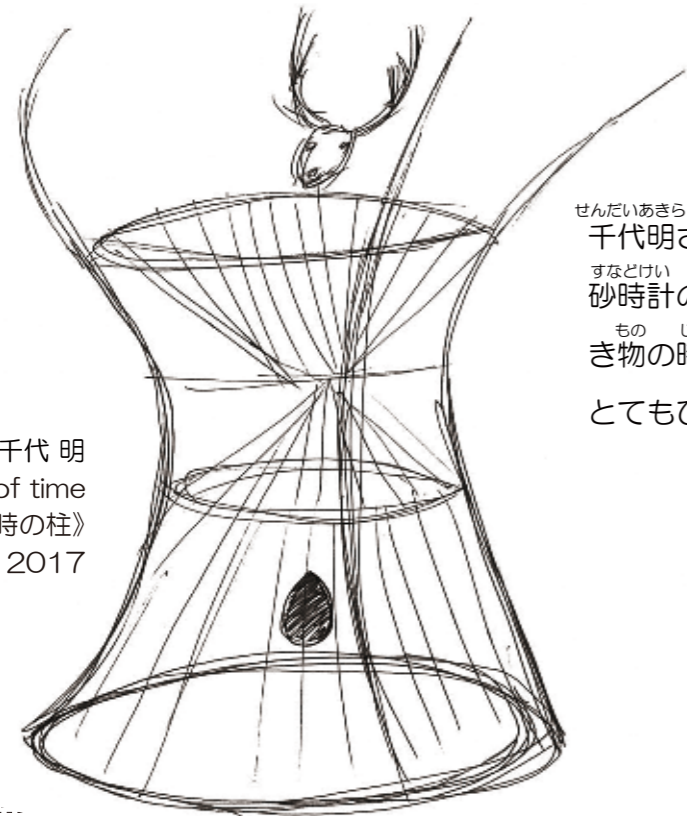
NITTAN ART FILE 2



クロスオーバー

crossover

2017年6月17日～6月4日



千代明
《pillar of time
一時の柱》
2017

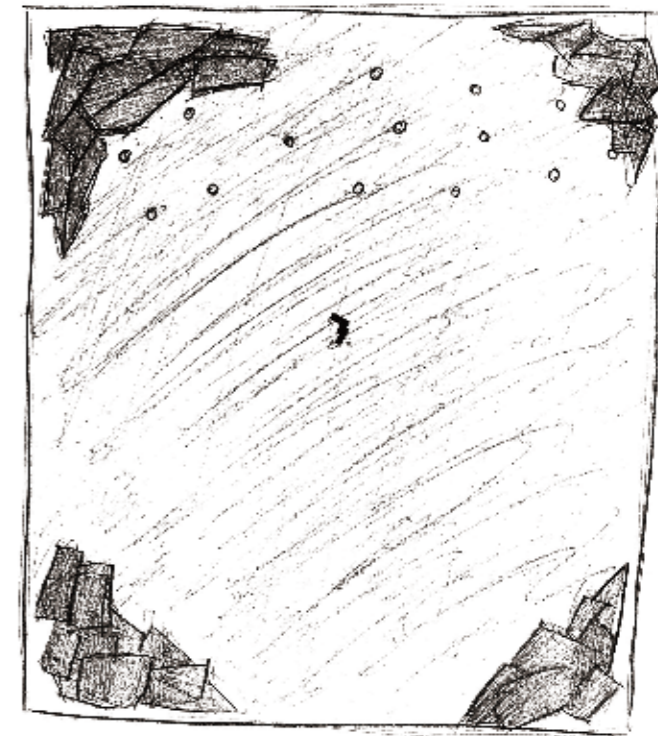
せんたいあきら とき はしら さくひん いんしょう のこ
千代明さんの、《時の柱》という作品も印象に残った。これは、
すなどけい かたち うえ ほね した たまご
砂時計の形をしていて、上には骨、下には卵というふうにい
もの じかん あらわ かん すこ こわ
き物の時間を表していると、感じられた。少し怖かったけれど、
とてもきつけられるところがあった。(小山鈴乃)

(イラスト：熊谷理菜)



佐竹真紀《pivot》2017

いちばんき はい さくひん かとうひろき えんらい くら
一番気に入った作品は加藤広貴さんの《遠雷》です。黒
こん なか うえ ほし まん なか ちい かみなり
や紺の中には上が星？、そして真ん中に小さな「雷」が
うみ お みりよくてき ちい そんざいかん
海に落ちているのが魅力的です。小さいけれども存在感
かん かみなり
を感じさせる「雷」がある。(熊谷理菜)



(イラスト：熊谷理菜)

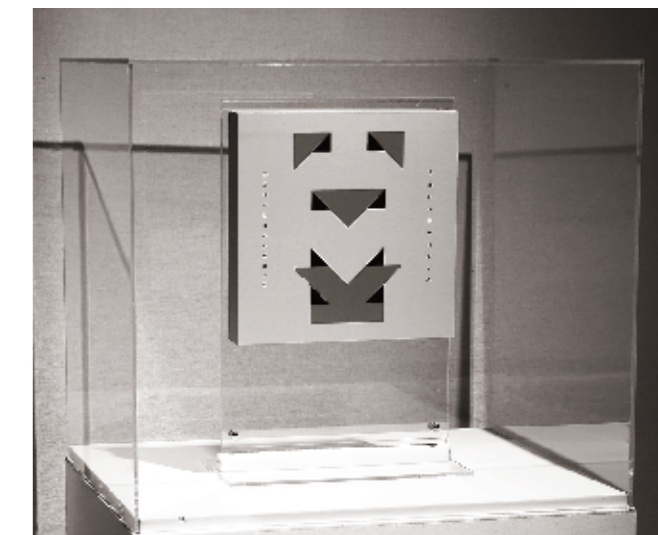
3

まつい しろう
松井紫朗さんの、
2016年の《手に取る宇宙—
アチラとコチラ》という作品が、
しんびてき つうろ
とても神秘的だった。バルーンの通路を
い さき みず はい きゅうたい
行った先にあったのは、水の入った球体。
なぜこうなったのだろうと思える不思議
さがあって、そこがまた宇宙を感じ
られた。(小山鈴乃)



《ダダリズム
「RHYTHMELOGIC」
CDジャケット》
録音・マスタリング：
中坪淳彦

松井紫朗
《手に取る宇宙—
アチラとコチラ 2017》



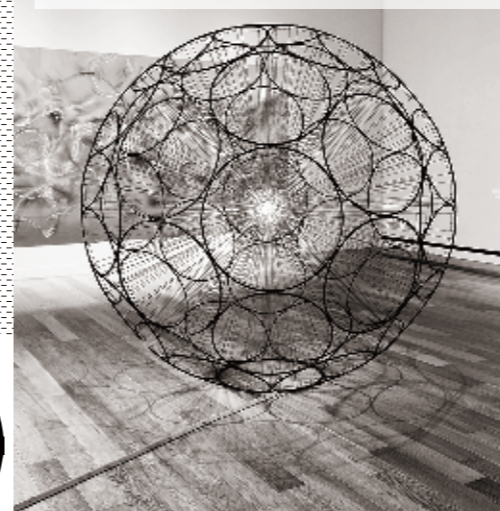
クロスオーバーとは、色々なものをこじや混ぜにするという意味だそうです。《時の柱》という作品は、一本
の線で砂時計のような形にして、上にはしかの骨、下には卵がありました。ほくはそれを見て、親が卵を産み、
親は死んでしまう所から、生と死を表現しているのではないかと思います。
《アチラとコチラ》の作品は、宇宙の空気がそのまま入っているところにおどろいた。今日きた中で一番楽しか
ったのは、青いブルーシートのおもしろく、宇宙ってこんな感じなんだなということをしわが
りました。(渡辺治暁)



細矢 久人 主任学芸員

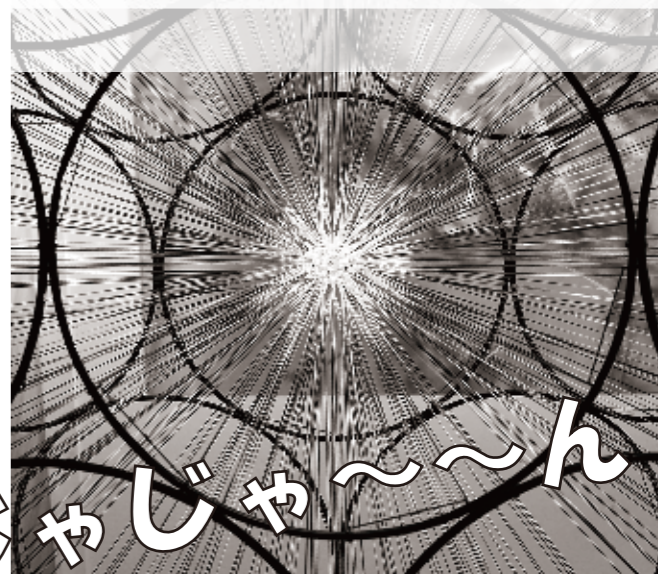
いぶり ひだか
胆振・日高の
げんだいびじゅつ しょうかい てんらんかい
現代美術を紹介する展覧会シリ
ーズ「NITTAN ART FILE」。今回はさまざまなモノや
イメージを組み合わせる新しい表現をつくりあげる「クロスオーバー」
をテーマに5人の作家さんが参加！「現実」と「非現実」、「宇宙」と「地球」、「今」
と「昔」などというイメージや、「美術」、「音楽」、「映像」、「科学」といった枠組みを
こ 越えた、さまざまな表現をご覧ください。

せんたいあきら ねん ワーク ナンバー ばんきん ぎじゅつ み ちが さくひん み ばんきんぎ
千代明さんの2016年の《WORK no.20》で板金の技術でどこから見ても違う作品に見えたところが板金技
術ってすごいなあと思った。この作品を見た人も「色がすごくきれい」「作者の人に会ってみたい」と言ってい
たので、ほくも作者に会ってみたいと思った。(中村創介)



なかを
みてみると...

千代明
《Condensation —凝縮》
2011



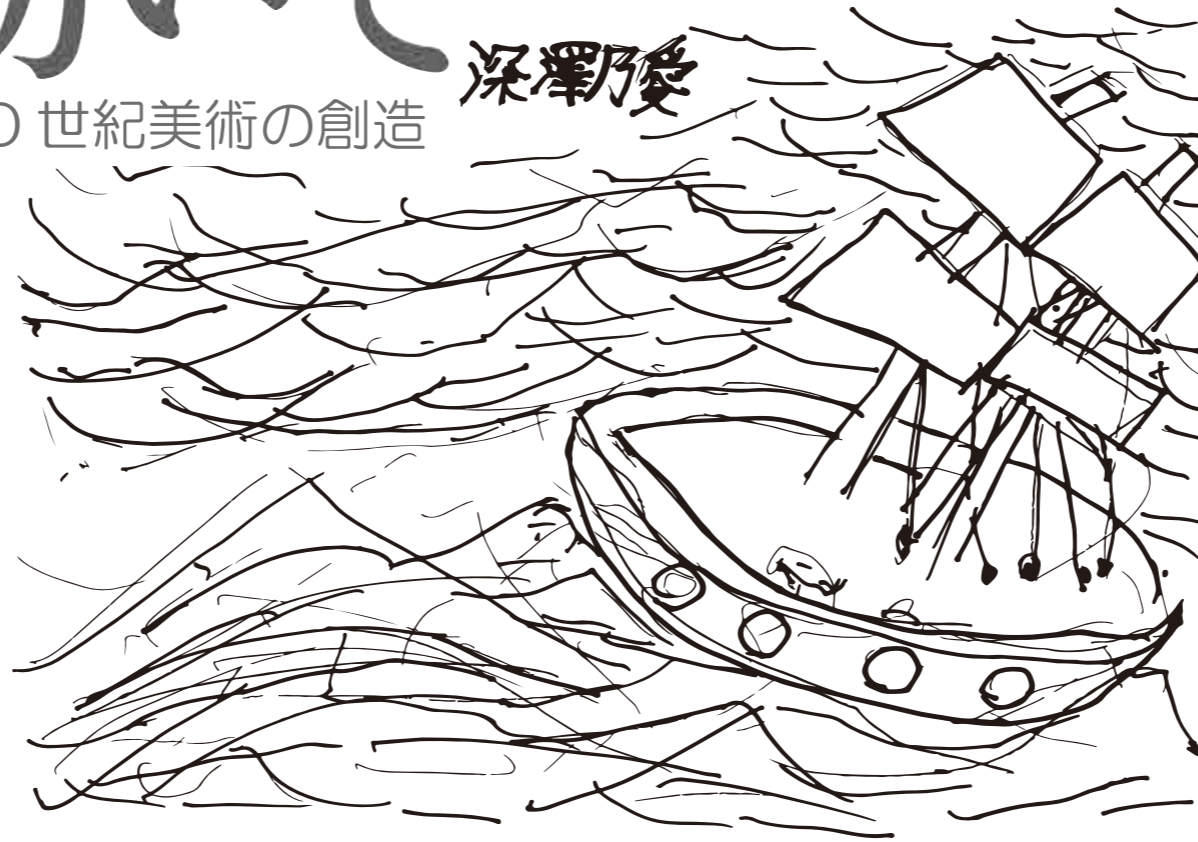
じゃじゃ〜ん

水から未来を紡いで

2017年7月27日～8月27日

深澤乃愛

20世紀美術の創造

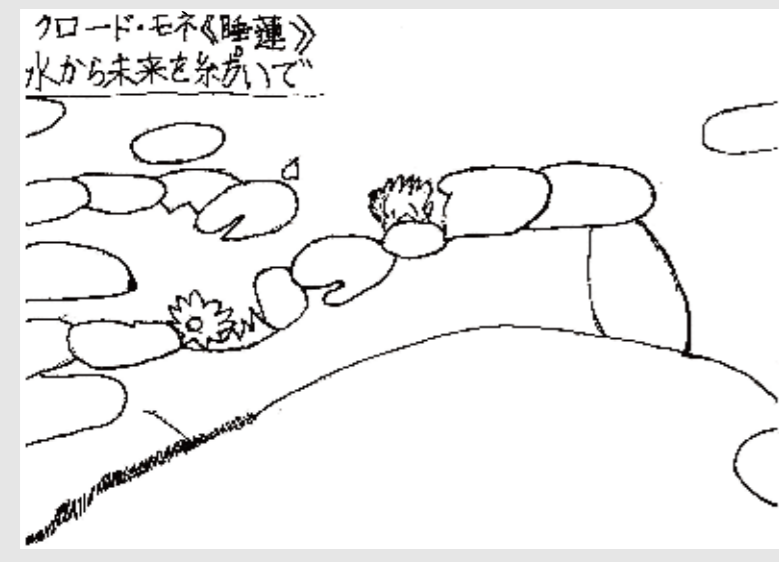


み き かに
見に来た方に
インタビュー
取材をしたよ!

ピエール=アルベール・マルケ《アルジェ、アガ港》
の色彩は、マルケの灰（グリ）とも呼ばれている。
(小山鈴乃)

私は、「水から未来を紡いで」で取材をし、今回この展覧会を主催しているトヨタの矢野さん、30才にインタビューしました。私がインタビューした内容は、「仕事内容」とこの展覧会の「みどころ」をききました。仕事内容については、こうお答えしていました。今回は34点の絵を集め、保険の手続きをしたそうです。もう一つの、みどころはいい絵ばかりだけどボリス・シュルバコフで、理由は苦小牧の風景とにているという理由だからだそうです。(山田和佳)

市内からきた富田さんに話を聞きました。富田さんは広告を見て美術館に来たそうで、この展覧会のお気に入りは「ロサンゼルス」という作品だそうです。「ロサンゼルス」は1987年に描かれ、オリンピックなども描かれています。富田さんは、「本物が見られてすごくよかったです」と話しています。
(黒滝直人)



(イラスト：坂東奈那)

取材をした安藤さんは、「水から未来を紡いで」を見て、「たくさん絵を見れてよかった」と言っていて、安藤さんは絵に興味をもって展覧会に来たと言っていました。一番のお気に入りのものは、モネの《睡蓮》とL.Sジパチェフの《雲と少女》が気に入ったと言っていました。(中村創介)

4

私は札幌から来た50歳の男性に取材しました。展示を見ようと思ったキッカケは出光カルチャーパークに来た時にたまたま見つけて来たそうです。印象に残った絵は「モディリアーニ」の絵だそうで、楽しさを感じたそうです。構図と色のつかい方がとてもよかったと言っていました。(荒井聖)

取材もしたよ!!
OGの荒井 聖さんが



きてくれました!!!

私は「水から未来を紡いで」の展示を見て気に入った作品は《帆走》です。あらあらと暴れる波に船がいっせきありました。色あいはあまりなくて、一見白黒かなと思います。でも、近くで見ると波が青色だったり、船の甲板にオレンジと青がありました。更に近くで見ると船の木の部分が茶色になっていました。すごく色づきがおもしろく、近くからみるほうが良いと言う人と遠くから見たほうが良いと言う人がいると思います。更に、展示の監視をしている瀬川さんに話しをききました。つたえたいことは、いつまでも苦小牧がきれいな水のまちになってほしいと言う事らしいです。今回も心をこめた良い展覧会だったと思います。

(イラスト・記事：深澤乃愛)

8月26日のびとこまで、OGの

荒井聖さんが来てくれました。今のマイブームを聞くと、「GReeeeN」で、ライブに行くほどだそうです。また、演劇にもはまっているそうです。今のびとこまメンバーに伝えたいことは、「がんばって記事を書いてください」と言っていました。(黒滝直人)

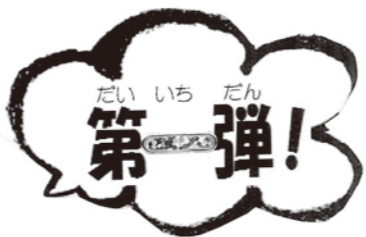
番外編 夏休み

ぼくは夏休みに「樽前artyについて」という自由研究をしました。樽前artyの意味や樽前artyの年表、そして樽前小学校でやった「三つの展覧会」について調べました。展覧会の写真や樽前山に登ったときの写真をつけたりしました。楽しかったことは、「三つの展覧会」のボランティアをしたことです。その中でも金魚のふんとりが楽しかったです。
(中村創介)

5

こども広報部記者紹介

こうほうぶ きしゃしょうかい



記者たちがお互いに取材しあいました

近所の名所は?

→スケートセンター

どんなところですか?

→リンクが大きくて、人がいっぱいくる。

好きな教科は?

→理科。



3年

ばんどうなな 坂東菜那

三☆

マイブームは?

→スターウォーズのレゴをつくること。スターウォーズのテレビを見て好きになってレゴをつくっている。

近所の名所は?

→白老の石山のところの足湯。スポーツをやって、足がつかれたらその足湯に入るのが好き。



わたなべよしはる 渡辺治暖

どんなとき幸せ?

→バスケットボールをやっているときが幸せ。好きだし、シュートが入ったらうれしいから。

もし宇宙へ行ったら何をしたい?

→月を見て見たい。クレーターがどれくらいの大きさかを見たいから。月に行ったら一番先に恋しくなるのは、ハンバーグが恋しくなる。もし帰れなかったら、火星に来てたて穴住居をたてて住む。



6年生

なかむらそうすけ 中村創介



6

くろたきなおと 黒滝直人

びとこまを続けている理由は?

→感想文を書くのが楽しいから。これからも続ける予定。

行ってみたい星は?

→冥王星。地球から遠いので行ってみたい。



こやますずの 小山鈴乃

もし宇宙にいったら何をしたい?

→月に行く。月に立ってみたい。

はじめまして!びとこまOGの熊谷理菜です。今回からsub編集長として、また参加させていただきます。記事のレイアウトやカットなどをしますので、ぜひ注目して見ていただくと嬉しいです!



くまがいりな 熊谷理菜

取材編

1. 準備

誰にどこで何を取材するかを考える

2. あいさつ

名前、取材目的、取材をしているのか

3. インタビュー

聞いた事は必ずメモ

4. 確認

間違いはないか、質問相手の写真をとる

5. お礼

感謝する

新聞を書く時編

1. 興味をもつ、好きになる!

2. いつ (when)・どこで (where)・だれが (who)・何を (what)

どのように (how)・どうした (why) の5W1Hを整理!

3. 短く、かつ簡単に小学生低学年でもわかるような文章を書く!

好きになる、整理する、わかりやすい